

平成 24 年 11 月 25 日 (日) 施行

第 169 回 全経簿記能力検定試験 1 級 会計 解説

第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 四
2. 企業会計原則 第三 貸借対照表原則 一

第 2 問

1. 受取手形 ¥160,000 を裏書譲渡し、これに対して保証債務 ¥2,400 が生じている。
2. 火災未決算は ¥6,000,000 - ¥2,430,000 = ¥3,570,000
このうち月末に支払われる ¥2,750,000 を除いた ¥820,000 は火災損失となる。
3. 1、2 巻 × @ ¥18,000 × 20 部 = ¥720,000 を今回引き渡した。
4. 残存耐用年数が 13 年から 5 年延長して 18 年になった。延長した部分は資本的支出である。
改修費 ¥1,980,000 × (5/18) = ¥550,000 (建物)
¥1,980,000 × (13/18) = ¥1,430,000 (修繕費)
5. 社債 ¥50,000,000 × (97.20/100) = ¥48,600,000
5 年間で償却するので、年間償却額は ¥280,000 ⇒ 3 ヶ月分 ¥280,000 × (3/12) = ¥70,000
年間利息 ¥50,000,000 × 1.6% = ¥800,000 ⇒ 3 ヶ月分 ¥800,000 × (3/12) = ¥200,000
社債発行費は 3 年償却なので、年間償却額 ¥96,000 ⇒ 3 ヶ月分 ¥96,000 × (3/12) = ¥24,000
6. 前渡金 \$ 8,000 × @ ¥80 = ¥640,000
商品受取時残金 \$ 30,000 × @ ¥78 = ¥2,340,000

第 3 問

		割賦売掛金			
当期首残高	¥15,150,000	¥12,550,000	当期回収分①		
		¥2,600,000	期末残高 (前期発生分)		
当期発生額 (売上高)	¥78,750,000	¥60,900,000			
		¥17,850,000	期末残高 (当期発生分)		

決算整理前の繰延割賦売上利益勘定残高 (当期首の割賦売掛金 ¥15,150,000 に含まれる利益分) が ¥5,454,000 であるから、売上利益率は、

$$\frac{¥5,454,000}{¥15,150,000} = 36\%$$

つまり、原価率は 64% である。当期の売上高は ¥78,750,000 であるから、売上原価は、

$$¥78,750,000 \times 64\% = ¥50,400,000$$

繰延割賦売上利益戻入は、当期に回収した割賦売掛金 (当期回収分①) に含まれている利益で、

$$¥12,550,000 \times 36\% = ¥4,518,000$$

割賦売上利益控除は、当期に発生した割賦売掛金のうちの期末未回収高 ¥17,850,000 に含まれている利益なので、

$$¥17,850,000 \times 36\% = ¥6,426,000$$

第4問 省略

第5問

[資料2] 検討事項

1. 未渡小切手

(借) 当座預金	320	(貸) 未払金	320
----------	-----	---------	-----

未処理の株主配当金領収書

(借) 現金	120	(貸) 受取配当金	120
--------	-----	-----------	-----

2. 仮払金の処理

(借) 仮払法人税等	5,640	(貸) 仮払金	15,800
仮払消費税	7,780		
退職給付引当金	780		
中間配当積立金	1,600		

3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	26,860	(貸) 前受金	650
		仮受消費税	11,210
		資本金	7,500
		資本準備金	7,500

4. 消費税

(借) 仮受消費税	11,210	(貸) 仮払消費税	7,780
		未払消費税	3,430

5. 仕入割引の修正

(借) 仕入	740	(貸) 仕入割引	740
--------	-----	----------	-----

[資料3] 決算整理事項

1. 受取手形+売掛金=6,340千円+42,160千円=48,500千円

$48,500 \text{ 千円} \times 1.4\% = 679 \text{ 千円}$

差額補充法より、貸倒引当金繰入額 $679 \text{ 千円} - 140 \text{ 千円} = 539 \text{ 千円}$

(借) 貸倒引当金繰入	539	(貸) 貸倒引当金	539
-------------	-----	-----------	-----

2. 売買目的有価証券の評価替え

慶良間会社株式 $(2.8 \text{ 千円} - 3.2 \text{ 千円}) \times 1,000 \text{ 株} = \Delta 400 \text{ 千円}$

与那国会社株式 $(1.6 \text{ 千円} - 1.5 \text{ 千円}) \times 1,500 \text{ 株} = 150 \text{ 千円}$

(借) 有価証券評価損	250	(貸) 有価証券	250
-------------	-----	----------	-----

3. 期末商品の評価

@22千円

@28千円

商品評価損なし	棚卸減耗費
a 商品	

商品評価損

正味売却価額 > 取得原価 ⇒ 商品評価損なし

棚卸減耗費

$@22 \text{ 千円} \times (320 \text{ 個} - 310 \text{ 個}) = 220 \text{ 千円}$

310個 320個

@45千円	商品評価損なし	棚卸減耗費	商品評価損
@57千円	b 商品		正味売却価額 > 取得原価 ⇒ 商品評価損なし
			棚卸減耗費
			@45千円 × (138個 - 134個) = 180千円
		134個 138個	

帳簿棚卸商品

a 商品 22千円 × 320個 = 7,040千円
 b 商品 45千円 × 138個 = 6,210千円 } 13,250千円

商品評価損…a 商品、b 商品ともゼロ

棚卸減耗費…220千円 + 180千円 = 400千円

(借) 仕 入	12,830	(貸) 繰越商品	12,830
繰越商品	13,250	仕 入	13,250
棚卸減耗費	400	繰越商品	400

4. 減価償却

建物 (定額法) 残存価格ゼロ

(44,800千円 - 0円) / 40年 = 1,120千円

備品 (定率法) 16,500千円のうち 2,000千円は当期4月1日に取得

① (14,500千円 - 6,700千円) × 0.250 = 1,950千円

② 2,000千円 × 0.250 × (6ヵ月 / 12ヵ月) = 250千円

(借) 減価償却費	3,320	(貸) 建物減価償却累計額	1,120
		備品減価償却累計額	2,200

5. 支給対象期間6か月のうち、当期に含まれるのは4か月

賞与引当金繰入…支給見積額 3,450千円 × (4ヵ月 / 6ヵ月) = 2,300千円

(借) 賞与引当金繰入	2,300	(貸) 賞与引当金	2,300
-------------	-------	-----------	-------

6. 長期借入金 15,000千円のうち 5,000千円は、解答欄の貸借対照表 (貸方) の勘定科目より、1年以内返済長期借入金に振り替える。

(借) 長期借入金	5,000	(貸) 1年以内返済長期借入金	5,000
-----------	-------	-----------------	-------

また、借入から決算日までは10ヵ月経過しているため、当期の利息は

15,000千円 × 3.4% × (10ヵ月 / 12ヵ月) = 425千円

(借) 未払費用	425	(貸) 支払利息	425
----------	-----	----------	-----

7. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	850	(貸) 退職給付引当金	850
------------	-----	-------------	-----

8. 法人税の計上

仮払法人税等が 5,640千円あるので

(借) 法人税等	7,880	(貸) 未払法人税等	2,240
		仮払法人税等	5,640